



感謝にあふれ心温まる卒業証書授与式でした

3月3日(金)第70回卒業証書授与式を行いました。厳粛な雰囲気の中で証書の授与が行われ、卒業生一人ひとりの大きな返事が際立っていました。在校生の態度もとても立派で、卒業生への感謝をしっかりと伝えようとする気持ちが十分に感じられるものでした。今年、卒業証書の授与の際に、各学級が真剣に取り組んだ合唱コンクール曲をBGMとして流しました。その後に行った卒業式実行委員会主催の第2部では、70周年記念曲『明碧の朝』の合唱曲を全校合唱しました。この歌詞は、式典で歌った歌詞に、3年生が歌詞をつなげたものです。作曲者の織茂学先生にも特別来賓としてお越しいただきました。第2部では、代表生徒のことば、全校合唱、いずれも心に響く素晴らしいものでした。親への感謝、仲間への感謝、先生への感謝……。人は、感謝のことばを耳にしたとき、心が温かくなり、とても気持ちよくなります。そして、次への意欲がわいてきます。実行委員の皆さん、卒業生を送る会、そして卒業式第2部の企画、運営ありがとうございました。



みんな、ありがとう 山口桃果(3-2)

私は、負けず嫌いで、自分の気持ちをうまく出すことができません。特に、困ったときやつらいときは、それを家族にも、友達にも言えず、じっと抱え込んでしまいます。どんなに辛いときも、泣きたい時も、人前では強がってしまい涙を見せることができませんでした。

そんな私が、体育大会の団長をやったときのことです。団のみんなに私の意志は伝わらず、行動もばらばらで、団長をやるのが嫌になる毎日でした。そんなときです。私の異変に気づいた3年のリーダーが「桃ちゃん、大丈夫？何かあったら頼ってね。団長一人で悩んじゃあ、ダメだよ。」と、励ましてくれたのです。この一言に、私は救われました。

また、東中70周年記念行事では、「全校生徒を動かす」という大仕事がありました。その頃は、ソフト部の部長もしており、校内では70周年の企画、家ではテスト勉強に塾通いと、手を休めるときがありませんでした。苦しくて、苦しくて、誰かに助けてほしいのに誰にもいうことができない。そんな私に気づき、声をかけてくれたのは、北野先生でした。先生は真剣に私の話を聞いてくれました。そして、

「おまえは一人じゃない。もっとみんなを頼れ。」と言ってくれました。その言葉のおかげで、私は気持ちが楽になり、前向きに進むことができました。

相談することは恥ずかしいこと、人を頼るのはいけないことと思い込んでいた自分の間違いに気づくこともできました。

お母さん、ありがとう 片山夢梨亜(3-1)

お母さんはどんなときも、私のそばにいて、支えつけてくれました。そして、私のことを一番に考えて行動してくれました。仕事で疲れていても、私が心配しないように、いつも笑顔で接してくれました。習い事など、私が興味をもったことに関しては、何でもやらせてくれました。そんな優しいお母さんに支えられ、私はここまで成長することができました。

中学校に入り、今まで以上に部活や勉強で忙しくなると、お母さんとの会話が減り、すれちがいが多くなりました。さらに、学校生活の中でたまったストレスを発散する場が、私には家しかなく、お母さんにあたるようになってしまったのです。そして、ささいなことでもけんかをしてしまう日々。そのたびに、私はいつも後悔していました。「ごめんなさい」と謝るべきだとわかっていても、自分から言い出すことができなかったからです。

お母さんが言っていることに耳を傾けようとせず、自分が思っていることが正しいと言い張りました。でも、あとになっていつも気づきます。お母さんの言っていることは正しかった、私のために叱ってくれていたのだと。お母さんはいつだって私の道しるべでした。

私には、夢があります。その夢は、簡単にはかなえられるものではありません。だから、これからもお母さんに迷惑をかけることがたくさんあると思います。でも、絶対にあきらめないから、応援してください。そして、今度は私もお母さんを支えていきます。これからも、お互い助け合いながら、がんばっていこうね。どんなことがあっても、私はお母さんのことが大好きです。15年間、こんな私のことを支えつけてきてくれてありがとう。そして、これからもよろしく願います。



サッカー 愛知県中学校U14選手権大会 優勝！

3月4日(土)、5日(日)にU14県大会が春日井市で行われました。この大会は県内の6ブロックから8チームが代表として参加する大会です。

初戦は知多代表の武豊町立富貴中と対戦しました。0-0で延長に入り、先取点を許しましたが、逆転して2-1で勝ちました。準決勝は東尾張代表の北名古屋市立訓原中と対戦しました。前半を2-1でリードし、後半も着実に追加点を加え安定した試合運びで4-1で勝ちました。

決勝戦は、西三河大会の決勝と同じクラブチームのMSCペレニアルFCとの対戦でした。ペレニアルFCは、西三河大会決勝で延長も見え始めた後半終了間近、点を入れられ3-4で負けた相手です。開始直後のコーナーキックを直接決めて先制しました。1点追加して前半を2-0で折り返しました。後半1点をとられました。集中力を欠かさず追加点をあげて3-1で勝ちました。本校サッカー部としては、県大会初優勝です。

